

再 評 価 調 書

I 事業概要					
事業名	街路事業				
地区名	都市計画道路 <small>こまつばらかいどう</small> 小松原街道線				
事業箇所	愛知県豊橋市 <small>あけぼの</small> 曙町～豊橋市 <small>はまみち</small> 浜道町				
事業のあらまし	<p>(都)小松原街道線は、豊橋市の中心市街地と市の南部を結ぶ主要な南北軸であり、一般県道豊橋環状線から主要地方道東三河環状線と交差し国道23号(名豊道路)まで至る幹線道路であり、北側から愛知県が整備を進めている路線である。市の都市計画マスタープランでも、交通渋滞や沿道環境を改善するため、整備を推進していく道路として位置付けられている。</p> <p>本路線の起点である一般県道豊橋環状線との交差点から中心市街地の外周を形成している主要地方道東三河環状線までの区間のうち未整備である当該事業区間は、歩道がなく歩行者や自転車等の安全性が確保されていないため交通の円滑化が図られていない状況である。</p> <p>このため、「豊橋市の南方方向の交通円滑化」「交通安全対策の強化」を主な目的として、(都)小松原街道線の現道拡幅整備を実施するものである。</p>				
事業目標	<p>【達成(主要)目標】</p> <p>① 豊橋市の南方方向の交通円滑化</p> <p>② 交通安全対策の強化</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>				
計画変更の推移		事前評価時 (2014)	再評価時 (2019)	変動要因の分析	
	事業期間	2015年度～2021年度	2015年度～2021年度	—	
	事業費(億円)	13.0	11.0	事業延長の変更及び精査によるもの	
	経費内訳	工事費	2.0	1.4	事業延長の変更及び精査によるもの
		用補費	10.0	8.6	事業延長の変更及び精査によるもの
その他		1.0	1.0	—	
事業内容	現道拡幅整備 延長 L=700m 幅員 W= 20m 2車線	現道拡幅整備 延長 L=476m 幅員 W= 20m 2車線	事業延長の変更		
II 評価					
①事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	<p>【事前評価時の状況】</p> <p>① 豊橋市の南方方向の交通円滑化</p> <p>豊橋市の中心市街地と市の南部を結ぶ主要な南北軸であるが、混雑度が1.18、交通量が16,664台/日(H22 センサス)と慢性的な渋滞が発生しており、交通の円滑化が求められている。</p> <p>② 交通安全対策の強化</p> <p>近隣には幸小学校及び高師台中学校があるが、現道に歩道がないため事業区間を避けるように通学路が指定されている。また、沿道には商業店舗や住居が連立しており、歩行者等の通行も見込まれる。</p>			

	<p>【再評価時の状況】 本路線の交通量は16,337台/日（H27 センサス）となっており、沿道施設の立地状況に大きな変化がないことから、必要性に大きな変化はない。</p> <p>【変動要因の分析】 大きな変動要因はない</p>																																																																																																											
判定	<p>B</p> <p>A： 事業着手時に比べ必要性が増大している。 B： 事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。 C： 事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。</p> <p>【理由】 当該事業区間の交通量や沿線施設の立地状況に事前評価時から大きな変化はなく、歩行者と車両の分離による安全な通行空間を確保する本事業の必然性は依然として高いため。</p>																																																																																																											
<p>1) 進捗状況</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; position: absolute; left: -40px; top: 50%; transform: translateY(-50%);">② 事業の進捗状況及び見込み</p>	<p>【事業計画及び実績】</p> <table border="1" data-bbox="391 772 1460 1041"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>2015</th> <th>2016</th> <th>2017</th> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">工種区分</td> <td>調査・設計</td> <td colspan="2">←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td></td> <td colspan="2">←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td colspan="2">←→</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">事業費(億円)</td> <td>計画</td> <td colspan="3">6.6</td> <td colspan="3">6.4</td> <td></td> <td>13.0</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td colspan="3">2.0</td> <td colspan="3"></td> <td></td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>今回計画</td> <td colspan="3">2.0</td> <td colspan="3">9.0</td> <td></td> <td>11.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>【進捗率】</p> <table border="1" data-bbox="391 1120 1460 1500"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">これまでの計画に対する達成状況</th> <th colspan="2">全体進捗状況</th> </tr> <tr> <th>計画【①】</th> <th>実績【②】</th> <th>達成率(%)【②÷①】</th> <th>計画【③】</th> <th>進捗率(%)【②÷③】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長(km)</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0%</td> <td>0.48</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>事業費(億円)</td> <td>6.6</td> <td>2.0</td> <td>30%</td> <td>11.0</td> <td>18%</td> </tr> <tr> <td> 工事費</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0%</td> <td>2.0</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td> 用補費</td> <td>5.6</td> <td>1.5</td> <td>27%</td> <td>8.0</td> <td>19%</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>1.0</td> <td>0.5</td> <td>50%</td> <td>1.0</td> <td>50%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※用地進捗率（面積ベース）は、約18% ※用地取得の一部を先行予算で実施しており、面積ベースの用地取得率は20%（2018年度末時点）</p> <p>【施工済みの内容】 部分供用済みの区間なし。</p> <p>2) 未着手又は長期化の理由 完了予定年度に変更なし。</p> <p>3) 今後の事業進捗の見込み 【阻害要因】 大きな阻害要因はないが、用地買収が未完了であるため、用地買収の完了に向けて引き続き交渉を行っていく。</p>			2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	合計	工種区分	調査・設計	←→								用地補償		←→							工事					←→				事業費(億円)	計画	6.6			6.4				13.0	実績	2.0							2.0	今回計画	2.0			9.0				11.0		これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況		計画【①】	実績【②】	達成率(%)【②÷①】	計画【③】	進捗率(%)【②÷③】	延長(km)	0.00	0.00	0%	0.48	0%	事業費(億円)	6.6	2.0	30%	11.0	18%	工事費	0.0	0.0	0%	2.0	0%	用補費	5.6	1.5	27%	8.0	19%	その他	1.0	0.5	50%	1.0	50%
		2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	合計																																																																																																			
工種区分	調査・設計	←→																																																																																																										
	用地補償		←→																																																																																																									
	工事					←→																																																																																																						
事業費(億円)	計画	6.6			6.4				13.0																																																																																																			
	実績	2.0							2.0																																																																																																			
	今回計画	2.0			9.0				11.0																																																																																																			
	これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況																																																																																																								
	計画【①】	実績【②】	達成率(%)【②÷①】	計画【③】	進捗率(%)【②÷③】																																																																																																							
延長(km)	0.00	0.00	0%	0.48	0%																																																																																																							
事業費(億円)	6.6	2.0	30%	11.0	18%																																																																																																							
工事費	0.0	0.0	0%	2.0	0%																																																																																																							
用補費	5.6	1.5	27%	8.0	19%																																																																																																							
その他	1.0	0.5	50%	1.0	50%																																																																																																							

		<p>【今後の見込み】 事業費ベースで、用地補償は約 19%の進捗状況となっている。今後も引き続き用地買収及び工事を進めることにより 2021 年度に完了する見込みである。</p>
判定	A	<p>①：これまで事業は順調であり、引き続き計画通り確実な完成が見込まれる。 B：次のいずれか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ・これまで事業長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ・これまでの事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 <p>C：阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。</p>
		<p>【理由】 事業は順調であり、予定通り 2021 年度までに整備完了が見込まれるため。</p>
III 対応方針（案）		
継続	<p>中止：上記①～②の評価で一つでもC判定があるもの。 継続：上記以外のもの。</p>	
IV 事後評価実施の有無と主な評価内容		
<p>■対象（事業完了後 5 年目） □対象外 【事業完了後 5 年を越えて実施する理由・対象外の理由】</p> <p>【主な評価内容】 ・交通量（全車、大型車）、旅行速度、混雑度を定量的に評価する。</p>		